

平成27年度第2回丹波市入札監視委員会議事概要

開催日及び場所		平成28年2月19日（金） 丹波市役所柏原支所 2 F 会議室		
出席者	委員	石原 俊彦 （関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授） 宮本 幸平 （神戸学院大学経営学部教授） 古賀 徹 （弁護士） 福元 俊介 （公認会計士）		
	事務局	鬼頭副市長 中野技監兼入札検査部長 三方入札検査室長 木村入札係長		
	説明者	教育総務課 大垣・玉水、河川整備課 荒木・足立・山内・井上、道路整備課 義積・青木、農林災害復旧対策室 高田、消防課 井上、下水道課 中川・荻野、工務課 玉水		
内容	1 報告		特になし	
	2 議事 (1) 平成27年度上半期入札・契約状況の報告 対象期間 平成27年4月1日～平成27年9月30日		(建設工事)入札：146件 落札率：85.15% 契約金額合計：4,265,813千円 (業務委託)入札：96件 落札率：75.02% 契約金額合計：308,394千円 (物品購入)入札：36件 落札率：73.56% 契約金額合計：304,330千円 (随意契約)件数：215件 契約金額合計：1,494,924千円 指名停止：3件	
	(2) 抽出事案に係る入札及び契約手続き等の審議 対象期間 平成27年4月1日～平成27年9月30日		抽出件数：10件 (内訳) 一般競争入札：4件 指名競争入札：3件 随意契約：3件	
	3 その他			
委員からの質問・意見それに対する回答等		質問・意見		回答
		別紙1（1～2ページ）		別紙1（1～2ページ）
委員会による意見の具申又は勧告（講評）		別紙2		

質問・意見	回答
1 報告 最低制限価格を下回る者が多数ある案件の考え方	変動型最低制限価格制度導入の検討 (かつて、導入団体への調査をしたが困難である印象をもった) 安易に推測できるものでないようにしてもらいたい
2 平成27年度上半期入札契約状況等 ① 平成27年度上半期入札・契約状況 落札率が上昇している理由は？ ② 建設工事の年度別入札状況 ③ 指名停止状況	① 最低制限価格制度を見直し、電気や設備の工事の落札率の比率が上昇したため。
3 抽出事案に係る入札契約手続き等の審議 今回の事案抽出の考え方	別紙2の通り
(1) 随意契約 丹教総物第1号 丹波市立小中学校教師用教科書・指導書・デジタル教科書購入(その1) ① 金額が大きい、競争はできないのか？ 少ないので、歴史的に限定されるのか？ ② 4年経った時の廃棄はどうなっているか？ 適切な廃棄がされているか確認をすべきである。	① 供給会社と取扱書店が決められている。学校の割り振りも決定されている。教育委員会では決定していない。 ② 適正な処理はされていると理解している。再度徹底されるよう指導をしていく。
(2) 指名競争入札 丹教総物第5号 丹波市立小・中学校印刷機購入 ① 参加業者が市内に限定されるのは？ ② 予定価格はカタログベースか？ 安くなっているか？ ③ 更新の基準が枚数なのか年数なのか？	① まず第一に丹波市内の業者を優先している。市内経済の活性化という観点である。 ② 問題意識は持っている。ただ、物品の価格決定については決まったやり方がないため、見積の取り方等考えていく。 ③ 他に、修理回数、修繕料の累計金額等をみて総合的に判断している。
(3) 指名競争入札 丹教総業第18号 丹波市小・中学校幼稚園消防用設備等点検業務 ① 予定価格に近いところと、安くなっているところがあるが業務の品質については大丈夫か？ ② 参加資格に丹波市のしほりがいないが？	① 積算の基準書に基づいた設計を行っている。ここ数年は200万円以下の落札となっている。いまのところ、誠実に点検もされている。 ② 辞退か予定価格超過が多いため。

質問・意見	回答
(4) 制限付き一般競争入札 河整委第22号 (準) 水上川護岸・橋梁詳細設計業務 ① 最低制限を6千円下回っている者がいる 35者と応札者が多い入札となっているのは ② どうみているか？	① 報告にあった通り、今後検討していきたい。最低制限を設定するのは、一定のニーズを満たすものでもある。 ② 予定価格の事前公表や、仕事と業者数の需給関係で入札参加者が多い。
(5) 随意契約 乙第5246号の2 (普) 山田川河川災害復旧工事 ① 随意契約する理由をもっと詳しく説明願いたい。	① 通行止めの措置を取ること、27年度中に完成させなければならない工程的な面を考えると、隣接地の県工事を落札している業者でないと施工できないため。
(6) 指名競争入札 道整委第13号 道路除草維持管理業務 (春日地域) ① 辞退が多い理由と最低制限価格の設定に問題はないか？	① 作業期間が7月中頃から8月中頃になる。時期的な問題はなかったかと考えている。どうしても災害関連もあるので土木工事優先されると推測している。予定価格の公表を行っていない案件である。最低制限価格の算出にも問題はない。
(7) 制限付一般競争入札 産農災工第34号 市ノ貝農地農業施設災害復旧工事 (その5) ① 最低制限価格と同額の応札が多いが問題はないか。	① 最低制限価格の応札になっているが、能力によっては積算は可能である。
(8) 制限付一般競争入札 消消物第28号 高規格救急自動車購入 ① 1者だけの参加となっている。参加資格・条件が1者にしかならないようにはなっていないか？ 落札が予定価格と近いが、売る側が強くないか？ 業界の状況はどうか？	① 他者の救急車はあったが、今はない。メーカー指定の入札はしていない。当該メーカー系ディーラーでの入札参加資格登録はない。当該メーカーの参画は可能である。全国シェアも小さく、県内における今年度の状況は1者で全て占めている。
(9) 随意契約 下業委第27-6号 農業集落排水処理施設及びコミュニティ・プラント処理施設水質検査業務 ① 予定価格に対して、応札価格が低いが、どうみているか。市のニーズを満たしているか。	① 積算に関しては、基準通り行っているので問題ない。落札金額の妥当性については、判断しかねる。業務の遂行には問題ない。
(10) 指名競争入札 丹水工第3号 水位計更新工事 ① 半額以下の落札となっているが、どういう理由があると考えているか。 ② 人口の減少、給水配水人口が減っているが、効率性の問題を考えてこれだけ更新をしていかなければならないと考えてやられているか	① 積算において機器単価の決定を業者見積もりで行っているので、落札者が安く仕入れてこの金額になったと考えている。見積もりをとっても、定価ベースでしか金額は出てこないのが難点である。工事の品質であるが、半年ほど経過したが特に不具合もなく運転されている。 ② 法律による耐用年数があり、計画的に更新している。

別紙 2

委員会による意見の具申又は勧告（講評）

1. 今回の事案抽出の考え方

- (1) 金額が大きいのに、競争ができていないのはなぜか。参加者が少ないのは、限定されているのか。
- (2) 予定価格の半分以上の落札であるが問題はないか。
- (3) 予定価格に近いところと、安いところがある。業務の品質について問題はないか。
- (4) 最低制限で応札した者が落札しているが、最低制限価格を挟んだ前後の幅がかなりある。
- (5) 災害復旧は理解できるが、随意契約の理由が分かりにくい。現場に入りにくい理由とは何か。
- (6) 辞退が非常に多い。最低制限価格を30万円も下回っている者がある。設定に問題はないか。
- (7) 最低制限価格に合わせた応札が多い。2位との差が千円であれば、業者の能力で選定すべきでは？
- (8) 入札であるにもかかわらず、1者だけの応札となっている。参加資格、仕様で仕方がないのか？他にできるところはないのか？
- (9) 予定価格の5分の1の落札額である。妥当とするなら、これだけの差はなぜ生じるのか？ 市のニーズを満たしているか？
- (10) 半額以下の落札でどういう理由があると考えているか？ 機器設計単価が設計額の70%弱を占めていることによる機器単価の設定方法は？

2. 総括

審議した案件では問題はなかった。

3. 今回の指摘事項

業務委託や物品購入について落札率が非常に低く、予定価格があってないようなものとなっている。国の基準等は理解できるが、前年実績等を参考にし、予定価格を設定できないものか検討すること。

最低制限価格を下回る失格者が多数出ることについて、改善の検討を進めること